

令和 3 年 3 月  
書 面 開 催

## 1 報告事項

### (1) 指定管理者による図書館の管理運営について

(会 長) 緊急事態宣言下の現状で、縮小されている図書館のサービスについて具体的に教えてください。

(指定管理者) ①館内利用時間制限

中央は閉館時間を 1 時間短縮し、通常午後 8 時までの開館を午後 7 時までに短縮した。分館の開館時間は変更なし。

②閲覧席の利用時間制限

中央の利用時間は 60 分に制限、分館の利用時間は 30 分に制限した。

③閲覧席の間引き運用

中央については、利用可能な閲覧席を全体の半分に以下に制限した。

2 階、4 階の利用者インターネット用 PC は、2 階は 3 台から 2 台に減数し間隔を開け運用した。4 階のデータベース検索用 PC は利用可能としたが、いずれも利用可能時間は 60 分に制限した。

分館についても同様に、既存の閲覧席を半分に以下に間引いた状態で利用いただいている。

④イベントの中止

中央および分館のおはなし会、工作会等を中止。また、中央主催の映画会、講演会も中止した。

(会 長) 初めての経験である新型コロナ禍での今年度事業を振りかえってみて、図書館運営上、難しかった点を教えてください。

(指定管理者) 運営上、難しかったのは、年度計画に沿った運営ができなかったことです。特に図書館の多目的室で実施している人気イベントの「映画会」について、一般向け、子ども向けをはじめ年間を通じて一度も実施することができなかった。

利用者数や貸出冊数が通常の年度よりも大幅に減少している。年度当初のほぼ 2 か月間にわたる臨時休館の影響が大きかった。

また、新型コロナ感染拡大防止のため、図書館来館時に入館

者把握の御協力をいただいておりますが、御協力をいただけなかった方もいらっしゃいました。

(会長) 同様に、今年度事業を振りかえってみて、今後の課題について教えてください。

(指定管理者) インターネットを活用した図書館オリジナルの企画の発信において、出版物には著作権が付随するため、出版社の許諾が必要となります。実際の「絵本の読み聞かせ」を撮影し、図書館ホームページ上で公開する企画も計画しましたが、著作権に阻まれ実施できませんでした。著作権を侵害せずに実施できる事業に限定して制作、公開していくことが今後も必要と思われま

す。  
なお、以下の2件は図書館スタッフが独自に考案し、工夫して実施したものです。

①「調べる学習コンクール」に向けた「調べ方」に関するパワーポイントを動画で撮影し、音声も付けた。このような図書館オリジナルな取り組みを充実させた。

②図書館の読み聞かせボランティアを対象に実施している、「絵本のべんきょう会」事業を中止したため、事業内で紹介する予定だった絵本を、図書館ホームページ「こどものページ」内に「絵本のべんきょう会」のページを新設し、紹介した。該当タイトルをクリックすると図書館システムの所蔵情報にリンクさせ、情報を取得し易くした。公開にあたっては、絵本全点について出版社の許諾を得ています。

また、TCNの番組で放送された「青梅のむかし話」について、放映ビデオの提供を受ける予定としているので、これを図書館からの貸し出し用DVDとして登録し、利用者に提供を開始していく予定です。

(会長) 東京都の緊急事態宣言が解除された際、縮小されているサービスをどの程度まで通常のサービスに戻す予定か教えてください。

(事務局) 新型コロナウイルスの感染状況は、宣言解除後すぐに通常時に戻ることは考えにくいいため、今後も国、都や近隣自治体の動向を注視しつつ、図書館利用者の安全を第一に考え、順次サービスを通常に戻すよう検討してまいります。

(委員) 11月5日・6日 図書館総合展オンライン視聴セミナー「GIGAスクール構想の推進による学びの充実を目指して」「G

「I G Aスクール構想の実現と学校図書館」は、どのような内容の研修だったのでしょうか。

また、今後どのようなG I G Aスクール構想を生かしての支援策など具体的な案などがありますか。

(指定管理者) ①セミナー名：「G I G Aスクール構想の推進による学びの充実を目指して」

講師：文部科学省初等中等教育局 初等中央教育企画課 学びの先端技術活用推進室 佐藤有正氏

内容：教育のI C T化に向けた環境整備5か年計画（2018年～2022年）の詳細。当初は3クラスに1クラス分の端末を予定していたが、令和元年12月に一人1台端末環境へシフト。さらに、コロナ禍において、G I G Aスクール構想の加速、一人1台端末の整備スケジュールの加速、学校ネットワーク環境の全校整備が進められている。教科書は4年に一度改定されるため、令和6年度にはデジタル教科書からターゲットになります。

②セミナー名：「G I G Aスクール構想の実現と学校図書館」

講師：放送大学教員教授（元・金沢星陵大学）佐藤幸江氏。

内容：G I G Aスクール構想において、I C T環境整備は重要。コロナ禍により学びが止まり、オンライン指導が実施できたのは、5%のみ。令和の学びのスタンダードは文具が支給されるように、一人1台端末の措置。

(委員) 2月17日(水)学校担当新任責任者研修が行われましたが、どのようなことを学校担当のポイントとしているのかを教えてください。

(指定管理者) T R Cの学校司書として、学校の要望にあわせた質の高いサービスを提供することを目標としています。

学校担当責任者はチームとしての運営（P D C Aの実施）、スタッフを指導育成するためのリーダーシップ・コーチングの研修を行いました。

(委員) 調べる学習コンクールについてですが、今回、初めて全国コンクールで優良賞に入ったこと、とても素晴らしいことだと思います。学校での調べ方の案内や図書館での調べることの支援事業など地道な活動が実を結んでいると考えています。感謝しています。

(指定管理者) 学校での先生方のご協力があって、今回の結果になったと思います。

今後も、複数の入賞者を出したり、個別の文部大臣賞等の受賞ができるようなさらなる成果を上げられるよう学校と連携して支援してまいります。

(委員) 学校図書館司書について、学校図書館の活性化のために、各校で様々な企画をしてくださっていることに感謝です。

(指定管理者) それぞれの学校図書館運営に合わせた支援を心掛けております。今後も先生方と協力し支援をしていきます。

## (2) 令和3年度図書館事業計画について

(会長) 新年度からの新規事業である「はじめての上映会」とは、こういった事業なのか、具体的に教えてください。

(指定管理者) 対象年齢を乳幼児（3歳児くらいまで）とし、作品も乳幼児向けの絵本を題材にしたアニメーションを取り上げ上映します。静かに見ていただく必要はなく、場内への出入りは自由としています。

保護者も一緒に入場いただき、「はじめての映画上映」に触れていただく機会を提供することを目的としています。

ただし、新型コロナウイルス感染症の状況により、今後、どのように開催するのかは検討してまいります。

## (3) 「青梅市子ども読書活動推進事業報告書令和元(2019)年度」について

(委員) 「学校図書館の情報化の推進(指導室)」については、GIGAスクール構想が令和3年度よりスタートしていきます。これからのことだとは思いますが、「情報化の推進」と事業名として挙げているのですから中・長期的でも構わないので具体的な計画を示していくことが必要ではないでしょうか。

(事務局) 学校図書館の情報化については、担当課である指導室を主導に調整しながら、学校図書館支援として協力可能な事業等の計画を検討してまいります。

## (4) 「青梅市の図書館 令和元年度事業報告」について

委員了承

## 2 その他

なし

以上